



・ 東部まつり みんなのひろば

9月28日(土) 東部まつり「みんなのひろば」にて、まごころドーナッツは『オリジナルプラバンづくり』で出店しました。若者4名、スタッフ3名、が参加し、地域の方々が描いたオリジナルプラバンが、104枚作られました。以下、メンバーの感想を紹介します。

残暑が厳しい日でした。ぐずつきそうなお天気で、タオルを巻いていないと汗が滴るような暑さでした。それでも、あつあつのトースターから目を離すわけにはいきません。

いま、トースターの中で熱いプラバンがぐにゃりと曲がっています。目の前で親御さんとお子さんが、キラキラした表情でトースターをじっと見つめているので、失敗なんてできません。私は毎回ドキドキしながら手を動かし、無事に金色のストラップをつけてお子さんに手渡すと、ようやくほっとします。



さて、振り返ると、ブルーシートの上で10人前後のお子さんたちがマジックを動かしています。プラバンに思い思いの絵を描いているのですが、すでにテントのそばには順番待ちの列ができています。私はめまいを感じました。どうも先ほどから、焼いても焼いても、お客さんが減っていないような気がするのです。

終わったあと、会計の方に聞くと、販売した数は100枚前後だったようですが、どうもその2倍は作ったような気がします。1枚1枚がちがう作品なので、密度が濃く感じられたのかもしれません。

準備期間は約1か月で、試作も何枚か行いました。大変な作業でしたが、地域のお子様の思い出に残るものができたのであれば、頑張ったかいがありました。協力していただいた地域の皆様、スタッフ、メンバーの方々に、心から感謝します。(メンバー 黒田)



・ 図書館で本の魅力を感じよう

新たなメンバーの参加で、9月の図書館プログラムは広がりや深みが増し、いつもとはちょっと趣の違う素敵な時間となりました。最近まごころドーナッツに登録したメンバーが寄せてくれた原稿を、紹介します。

プログラム「図書館で本の魅力を感じよう」に参加しました。このプログラムは、まごころドーナッツ近くにある「中野東図書館」にて、自分が興味を持った本を選んで持ち寄り、メンバー同士で見せあうという内容です。

私は中野東図書館には初めて訪れたのですが、想像の数倍は本がありました。何より一番驚いたのは、藤子・F・不二雄氏の漫画やジョジョの奇妙な冒険という漫画のムック本など、漫画に関する本もあったことです。子供向けの本のコーナーも充実しており、時間内で見切れませんでした。

私が選んだ本は6冊ほどですが、その中でも特に私が勧めたい本は、太宰治の「人間失格」と、江戸川乱歩の「人間椅子」です。「人間失格」については、名作と言われているだけあって、読んだことのあるメンバーと共に作品への解釈を語ることができました。好きな作家について語り合えるのは楽しかったです。また、他のメンバーが推薦した様々な本も知ることができました。推薦された本を見ていると、メンバーの趣味や人間性、これまでの人生などが見えてくるようでした。本について語り合える場が欲しいと思っていたので、非常に有意義な時間を過ごせました。次回も楽しい回になることを願っています。(メンバー Ayano)

・はたらく大人と出会う会 ～にじいろアトリエ主催～

9月のゲストは、まごころドーナッツがボランティアでもお世話になっている東中野区民活動センターの仙石達也さん（「OHANA 仙石本家」フラワースタylist）のご紹介で、創作教室「にじいろアトリエ」主催で、イラストレーター・映像作家でもある茂木薫さんをお迎えしました。

茂木さんがお持ち下さった「HISTORY」と題した資料を基に、参加者が気になった箇所を茂木さんにフィードバックし、質疑応答を織り交ぜながら話が広がっていきました。プログラム時間終了後も、各テーブルで会話が花が咲いていました。



その日の感想と気づいたことを、丁寧に記載してくれたメンバーの言葉を以下に紹介いたします。

◆ 今日の感想

茂木さんご自身の幼少時代（小学校・中学校時代）の辛かった時の経験談を伺って、当時周りの大人達に言いたくも言えなかった思いがあったんだなと感じ、もしかしたら茂木さんが社会人になって1年目辺りの仕事がとてもきつかった時期でも、ドキュメンタリー作品の制作と並行して仕事を続けられたのは、当時の幼少時代のつらかった経験があったからこそだったのかなとも思いました。

◆ 気付いたこと

茂木さんが最初にドキュメンタリー作品を撮り始めた時期に、当時大学の民俗学の教授から言われた「どれだけ面倒でも、人とのつながりを持つことは大事」

という話を聞いて、僕自身も色々とひっかかる部分が少なからずあるかもなとも思いました。

(メンバー Rikuntyu)

・【ボランティア】 子ども神輿



9月14日（土）に氷川神社例大祭の塔ノ山町会子ども神輿にサポートボランティアとしてメンバー2名とスタッフで参加しました。安全のために子ども神輿を大人たちも一緒に持つようにしていて、その役割を担いました。加えて、神輿と一緒に動く太鼓を載せた山車を支えたり、時には太鼓を叩いたりもしました。

子どもたちや町会の方々と共に町内を練り歩き、体力的にはなかなかしんどかったですが気持ちの良い汗をかきました。参加したメンバーたちも声を出し頑張っていました。休憩タイムに町内の様々な人とお話しできたのも楽しかったですね。



余談ですが、翌日の日曜日の大人神輿にスタッフが参加したところ、まごころドーナッツのメンバーたちがプログラムではないのに4名も駆けつけてくれました！（前日のボランティアプログラムよりも参加人数が多いというのが、なんとというか、この事業の難しさでもあります…）

今月号の別記事で東部まつりのことを取り上げていますが、フリースペースの活動をきっかけにして多くの若者たちが「地域とのつながり」を増やし深めていっているように感じます。それは町の人々にとっての「若者とのつながり」の話でもあります。私たちがずっと大切にしてきた地域と若者のつながりが育ってきていることを非常に嬉しく思います。

(スタッフ 田中亮太)

中野区若者フリースペース まごころドーナッツ

- 【所在地】 〒164-0011 東京都中野区中央 1-41-2
中野区子ども・若者支援センター（愛称：みらいステップなかの） 4階
東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅A1出口から徒歩2分
- 【電話】 03-5937-3664
- 【開所時間】 火曜日から土曜日（祝日、年末年始を除く）11:30～19:00
※毎月2回、不定期で閉所日があります。

プログラムスケジュールや最新情報は、HPにてお知らせしていきます。➔

